

9/26  
(火)

全国中学校ソフトボール大会出場  
**楽しんで試合に挑む**

9月26日、鹿児島市のソフトボールチーム山口水産 Jr. に所属する濱島海司<sup>かいじ</sup>さん（鷹巣中1年）が川添町長に第45回全国ソフトボール大会へ出場したことを報告しました。

同大会で、中学1～3年生が出場する中、1年生がメインの同チームが、1回戦を22-0で見事に勝利し、ベスト8に輝きました。

川添町長は「全国大会に出場できて本当に良かった。今後もソフトボールを続けて頑張してほしい」と労いの言葉を贈りました。

家族で川添町長に報告



濱島さんは「全国大会に出場できてうれしかった。楽しんで試合ができた」と全国大会出場を楽しんだ様子でした。

9/27  
(水)

杉ノ段招魂祭  
**戦争の記憶を風化させない**

9月27日、戦没者を追悼する杉ノ段招魂祭が杉ノ段招魂墓地で執り行われ、遺族や団体関係者らが参列し、戦没者を追悼しました。

神事が執り行われる中、川添町長が「戦争の悲惨さと平和の尊さを深く心に刻み未来を担う次の世代に受け継いでいかなければならない」と、町遺族会の濱畑順一会長は「過去を謙虚に振り返り、風化させることのないようしっかりと語り継いでいきます」と慰霊の言葉を述べました。

慰霊の言葉を述べる濱畑会長



9/29  
(金)

町内各地で十五夜祭り  
**十五夜相撲で大人に挑戦**

9月29日、町内の各集落で十五夜祭りが行われました。

夕方は、子どもたちが、お菓子をもらいに民家を回り、「ありがとうございます」の声が町中で聞こえました。

夕暮れ時、小浜集落では、広場に約50人が集まり、綱引きや相撲が催されました。子どもたちは「力飯」と呼ばれるおむすびを食べ、力を付けて綱引きと相撲に挑みました。

集落の相撲自慢、町田英樹さんが指導した稽古相撲では、町田さん1人に対し子ども4～5人が

町田さん（写真中央）と稽古をする子どもたち



土俵に立ちました。子どもたちが次々と土俵の外へ押し出される中、男の子4人組が勝利しました。

4人組は「真っ向勝負では勝てないので、作戦を立てて挑みました」と息を切らしながら話し、誇らしげな表情でした。